



## 七輿山古墳合同調査

国指定史跡七輿山古墳の内部構造を解明するため、市・早稲田大学・群馬県立博物館合同で調査が行われ、4月18日、成果公表会見が行われました。

今回は、デジタル技術を使った3次元測量のほか、レーダー探査により地中を発掘することなく調査を行いました。早稲田大学の城倉正祥准教授から、全長がこれまでよりも大きい150メートル超の規模で、6世紀代の古墳としては国内2番目の大きさとなる可能性があることや横穴式石室の存在が確認され、その入口部分が判明したことなどが報告されました。

